

六ツ川大池地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆つなげよう ひろげよう 地域で支える安心なまちづくり！

男性の地域参加をすすめ、地域の福祉活動の担い手を増やすために・・・

【成果】

- ・携帯電話を活用した、支え合いネットワーク活動として「支え合いグループ すみれ」を立ち上げました。サポーター(担い手)の半数は男性となっており、新たな担い手の育成も進んでいます。
- ・各自治会単位で開催されているサロンでも男性の担い手が活躍しており、男性が入りやすい雰囲気を作り出しています。



すみれ運営委員会

【今後に向けて】

- ・男性にも関心が高い「健康づくり」を目的とした行事などを企画し、担い手となり得る男性が集まる機会を作っていきます。
- ・担い手も楽しみを見つけながら無理なく活動を続けていける様、工夫します。

子どもから高齢者まで様々な交流の場を作るために・・・

【成果】

- ・自治会町内会単位で数多くのサロンや事業が立ち上がり継続してきたことで地域の状況が把握しやすくなりました。
- ・子育てサロン参加者が他の地域活動に関心を持たれたり1つの活動の中でできた絆が他の活動へもつながってきています。



子育てサロン

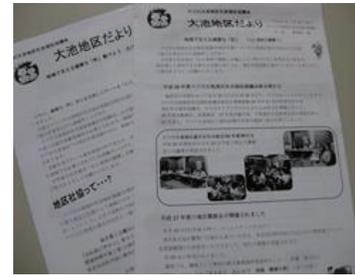
【今後に向けて】

- ・既に関わっている活動以外の地域活動にも関心を持ってもらえる取組みを進め、新たな担い手発掘につなげていきます。
- ・現在行っている事業は引き続き丁寧に取り組んでいきます。

地区社会福祉協議会の活動を情報発信するために・・・

【成果】

- ・地区社協広報紙「大池だより」にて活動を報告するだけでなく、六ツ川地域ケアプラザに協力いただき、広報紙「地域交流便」で、地区の活動（サロン活動、支え合いグループすみれの活動等）を掲載しました。
- ・自治会町内会掲示板を通じて、「すみれ」やサロン等の活動を周知しています。



大池だより

【今後に向けて】

- ・引き続き、地区社協の活動や地区内の福祉活動の充実につながるような情報を発信します。

災害時の要援護者支援について、住民同士で検討するために・・・

【成果】

- ・災害時に備え、日頃から地区内の活動を通じて、住民同士顔の見える関係づくりが進みました。
- ・要援護者（高齢者・子ども・障害児者）の支援について各自治会や団地単位での取組みを進めてきました。



検討会

【今後に向けて】

- ・地域として可能な要援護者支援の取組みを引き続き検討していきます。
- ・既存の要援護者の見守り体制についても、見守る側を新たに募る等、体制の強化を図っていきます。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ＝平成26年9月末日現在）

平戸桜木道路の区内最奥部に位置します。六ツ川台団地など、地形の単位毎に開発された団地が連担する地区です。

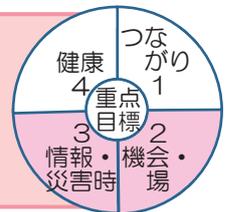
地区人口＝約17,700人
 年少人口比率＝10.4%
 高齢人口比率＝29.9%
 総世帯数＝約8,100世帯
 平均世帯規模＝約2.2人



つなげよう ひろげよう 地域で支える安心なまちづくり！

地区社会福祉協議会の活動をもっと理解してもらうために・・・

5年後の将来像：発信側からも受け手側からもお互いに情報のやり取りができている。

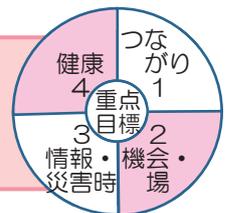


具体的な取組等

- ・地区社会福祉協議会の活動や3団体（民生委員児童委員、友愛活動員、保健活動推進員）の定期訪問活動を通して、地域住民の知りたい情報を把握します。
- ・必要な方に必要な情報が届くよう、地区社協広報紙「大池だより」、事業ごとのチラシ、直接の声かけ、六ツ川地域ケアプラザ広報紙「地域交流便」の協力など様々な方法で発信していきます。

「心と体の健康づくり」をすすめるために・・・

5年後の将来像：健康づくりを通じた仲間づくりの輪が広がっている。

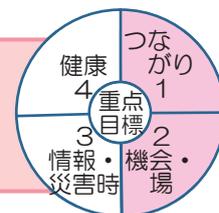


具体的な取組等

- ・連合自治会や老人会等と連携し、地区全体で引き続き「心と体の健康づくり」の取り組みを進めます。
- ・初めての参加者や大きな集団での活動が苦手な方でも参加しやすいように規模の異なる健康づくりの場を作ります。
- ・「健康づくり」をきっかけとした交流の場を作ることで、特に男性の地域参加を促進します。

地区内の交流を活発にするために・・・

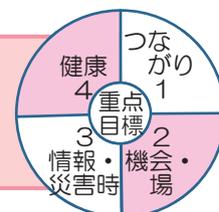
5年後の将来像：対象や内容が違う福祉保健活動も相互に交流・情報伝達ができる関係になっている。

**具体的な取組等**

- ・各自治会単位での活動について連合自治会全体で把握し、住民の間で共有できるようにします。
- ・活動への参加者が既に関わっている活動以外の地域の福祉活動にも関心を持ってもらえるような情報提供や働きかけを行っていきます。

地域の福祉活動の担い手を増やすために・・・

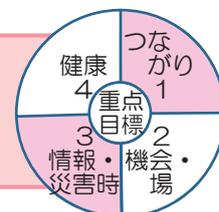
5年後の将来像：地域でいきいきと活動する担い手が男性・女性問わず増えている。

**具体的な取組等**

- ・広報紙などで事業を紹介するとともに、担い手も幅広く募集します。
- ・担い手のやりがいづくり・健康づくりも意識し、無理なく楽しんで活動が続けられるような仕掛けを作っていきます。
- ・様々な年代が交流する事業を通じて、幅広い年代の担い手を発掘していきます。
- ・男性が参加しやすく活躍できる事業を意識して展開していきます。
- ・六ツ川大池地区の特長的な活動である「支え合いグループすみれ」が継続して円滑に活動できるよう担い手を支援します。

災害時の要援護者の支援のために・・・

5年後の将来像：地区全体で防災意識が高まり、日常的に見守りが行われている。

**具体的な取組等**

- ・自治会単位での現在の取組み状況を把握し、共有することで地区全体の取組みの底上げを図っていきます。
- ・高齢者等定期訪問事業実施団体（民生委員児童委員、友愛活動員、保健活動推進員）等と連携し、要援護者の状況の把握に努めます。
- ・災害時に備え、平常時から見守り活動を継続します。